

花咲き山

令和3年度
飯豊町立飯豊中学校
第2学年だより
第23号
2021.9.17
文責：小松正義

短歌《国語》の学習より

あと1週間！

2年生が主役の大会第一弾が、あと1週間後に迫りました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、1度も練習試合などを組めなかった部がほとんどです。普段行っている練習が、他校と比べてどの程度なのか全くつかめないままの大会なので、子ども達の不安は大きいと思います。地区大会同様、無観客を基本としての大会運営になります。各種目、救護係・記録係の2名の代表の方のみの入場が許されるだけとなりますので、保護者会を中心に割り振りが考えられると思います。その指示に従っての応援をお願いします。

保護者は応援も満足にできない、選手は不安を抱えたまま試合に臨む、そんな大会にはなりますが、子ども達は今、精一杯頑張っています。応援よろしくをお願いします。

また13日(月)～24日(金)の間、飯豊中恒例の挨拶バトルを展開しています。どの部も団結力を示そうと、必死に明るく爽やかな挨拶を響かせています。

上級学校調べ発表会！

総合的な学習の時間で県内の高校を中心とした上級学校を調べました。1人1校責任を持って調べたものを、各クラスで発表しました。友だちの発表を聞きながら、いろんな事を感じ取ったようです。

- ◎ 私が考えていた以上にたくさんを知れた。
- ◎ 商業高校をめざしていたけれど、他の学校も楽しそうで、他の学校もよく知り、しっかり考えて決めていきたいと思った。
- ◎ 力を入れている取り組みがそれぞれ違っていった。どの高校も様々な特徴があった。さらに調べて、進路についてもっと考えようと思った。
- ◎ 就職先がたくさんある高校があつていいなと思ったし、中学校とは違う行事などがあつて楽しみになりました。
- ◎ いずれにしても、勉強は大事だということを改めて感じたので、勉強を頑張ります。
- ◎ 高校卒業後、前までは就職しようと思っていたけど、発表を聞いて、大学に進学してもっと学びたいと思いました。
- ◎ 自分の進路には、たくさんの選択肢があることに改めて気付いた。

国語の授業で短歌を学んできました。一人一人が短歌作りに挑戦しました。いくつか紹介します。クラス毎気に入った歌を選んで鑑賞しましたが、学年担任団でも選歌しました。

☆小松正義 選

部活動 「本気でやれ」と 言われても バレないように 少し息抜き

選評 部活動 「本気でやれ」と 言わせるな バレバですよ あなたの息抜き (選評に代えて)

☆渋谷智美 選

涙煮し カメラも要らぬ 去る友よ 君の笑顔を 瞳におさめて

選評 大切な仲間との別れを惜しみつつ、みんな笑顔で見送った一学期終業式の日が目に浮かびます。

☆高橋圭 選

帰りたい 思えばつかの間 転倒し 左手見れば 富士山誕生

選評 大切な県大会前に「バカヤロー！」とは思いましたが、当時の腕の様子が思い浮かぶ最高の比喩。

☆岩瀬仁実 選

ステージに 向かう私と 高鳴る鼓動 たくさん息吸い 奏でる音楽

選評 私自身も初めて経験した舞台だったので、あの時のドキドキ感やワクワク感は忘れられません。一緒に味わった緊張感を思い出しました。

心の揺れや情景が浮かぶ秀作

フルカウント 額の汗が 目にしみる 次の一球 無音の時間 嶋貫 湯

腹痛い 耐えられない僕 助けてよ ご飯食べたい 出れないトイレ 江連靖斗

震える手 あと一小節 息を吸う ソロの始まり レの音確認 佐藤澄怜

懐かしき 鰯雲の下 響く声 みんなで囲む 芋煮の鍋 一組 後藤和希

サザエさん エンディング聞けば うつ状態 宿題がまだ あるつてのに 二組 遠藤冬生

雨の中 傘を広げ ゆり描く ぐちゃぐちゃの紙 にじむ一筆 二組 鈴木大虎

深呼吸 筆を持つ手に 力入れ 白い紙を 絵の具で彩る 二組 木村桃佳

ドクドクと うるさい心臓 手をあてて 気合十分 「お願いします」 二組 本間庵里